

ICT活用による業務の効率化

中核校 恵庭市立恵み野中学校 指定校 恵庭市立恵み野小学校、恵庭市立恵み野旭小学校

実践前の状況

- ・保護者との連絡手段において、ICT化が進んでおらず、業務の効率化が図られていなかった。
- ・授業準備や採点業務について、ICT化が進んでおらず、業務の効率化が図られていなかった。

実践の概要

職員会議のペーパーレス化

- ・職員会議資料をペーパーレス化し、議題の精選と連絡事項を事前に各自確認しておくことにより、会議時間の短縮を図った。

ICTを活用した保護者との連絡・アンケート等の効率化

- ・入学説明会の資料や中学校から小学校の保護者に向けたアンケート等の保護者向け文書の発信に際し、メールやGoogle formsを活用するなど、業務の効率化とペーパーレス化を図った。
- ・児童生徒の欠席連絡をメールで受け付けることにより、学級担任や事務職員による朝の電話対応時間の削減を目指した。

ICT活用による授業準備や採点業務の効率化

- ・中核校及び指定校においてA Iドリルを導入し、家庭学習や授業での効果的な活用を推進した。
- ・授業づくりに効果的なアプリや使い方について、校内研修等で共通理解を図った。
- ・中核校において、自動採点ソフトを導入したことにより、時間短縮による採点業務の効率化を図った。

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・「教員のICT活用指導力に係るアンケート」の実施や、研究主任やICT担当教員によるICT活用研修の実施を指示し、ICT活用指導力の実態把握と教職員への意識改革を促した。
- ・これまで印刷したり配布したりしてきた保護者あて文書や連絡等はメールを活用し、ペーパーレス化を図るため、教頭や教務主任、学年主任及び事務職員等から意見を集約し、校内の運用基準を設定した。

〔専科教員の取組〕

- ・校内研修を通して、授業づくりに効果的なアプリの紹介や教職員の情報交流を行い、ICTを効果的に活用した授業改善の取組を通して、業務の効率化を促した。

成果（ ）と今後の課題（ ）

ICT活用研修の実施やペーパーレス化に向けた校内の運用基準を定めたことにより、全教職員による協働体制を整備することができた。

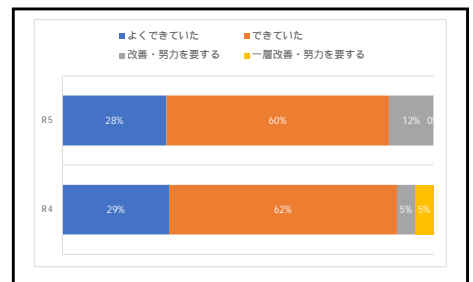
〔学校評価（教職員）の「本校の教育目標や年度の重点目標の具現化を目指し、教職員相互の信頼関係を基盤とした協働体制が確立されている」の項目について、「よくできていた」の回答が増加した。（R4：21% R5：32%）〕

ICT活用による業務効率化について、教職員の実感が十分ではないことから、業務内容を精選する必要がある。

〔学校評価（教職員）の「教職員の働き方改革の推進」の項目について、肯定的な評価が減少した。（R4：91% R5：88%）〕



【ICT活用研修の様子】



【働き方改革の推進（学校評価）】